

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月23日 (2011.6.23)

【公表番号】特表2010-529207(P2010-529207A)

【公表日】平成22年8月26日 (2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-512336(P2010-512336)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/86

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/22

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/19

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月28日 (2011.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

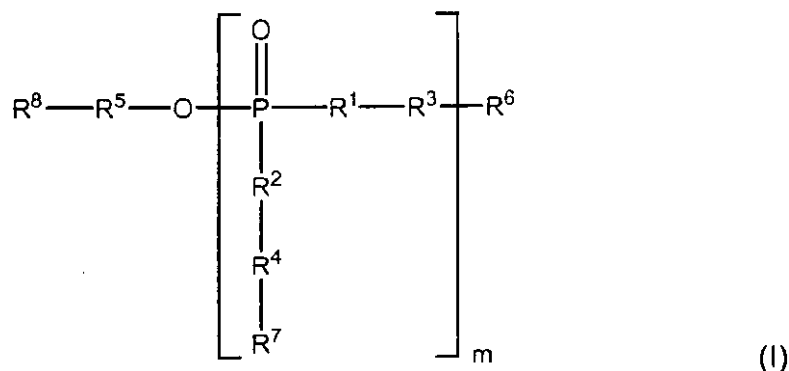
下記を含むオーラルケア組成物；

(a) 艶出剤 (研磨剤)、起泡剤 (界面活性剤)、バインダー、保湿剤、薬剤、過酸化
物供給源、重炭酸アルカリ金属塩、増粘材料、水、二酸化チタン、香味剤、甘味剤、キシ
リトール、着色剤、水及びそれらの混合物から成る群から選択される、10 % ~ 99 % の
、少なくとも 1 種の成分；及び

(b) 下記を含む、有効量の抗汚染薬剤；

(b) (I) (1) 次の構造 (I) に従う有機リン化合物；

【化 1】



(式中、

各 R^1 及び各 R^2 は、独立して、存在しないか又は O であるが、 R^1 及び R^2 の少なくとも一方は O であり、

各 R^3 は、独立して、所望により、アルキレンオキシ又はポリ(アルキレンオキシ)基の1つ又は2つ以上の炭素原子上に、ヒドロキシル、アルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシ、アルケニル、アリール又はアリーロキシにより置換されてもよいアルキレンオキシ又はポリ(アルキレンオキシ)であり、

R^5 及び各 R^4 は、独立して、存在しないか、あるいは所望により、アルキレンオキシ又はポリ(アルキレンオキシ)基の1つ又は2つ以上の炭素原子上に、ヒドロキシル、アルキル、ヒドロキシアルキル、アルコキシ、アルケニル、アリール又はアリーロキシにより置換されてもよいアルキレンオキシ又はポリ(アルキレンオキシ)であり、

R^6 及び R^8 は、それぞれ、そして各 R^7 は、独立して、 H 若しくは $(\text{C}_1 \sim \text{C}_{30})$ 炭化水素、又は $-\text{P}(\text{O})\text{R}^9\text{R}^{10}$ であり、前記炭化水素は、1つ若しくは2つ以上の炭素原子上に、ヒドロキシル、フッ素、アルキル、アルケニル若しくはアリールで所望により置換されていてもよく、そして/又は1若しくは2以上の位置のところで、 O 、 N 若しくは S ヘテロ原子により所望により割り込まれてもよく、

R^9 及び R^{10} は、それぞれ独立して、ヒドロキシル、アルコキシ、アリーロキシ又は $(\text{C}_1 \sim \text{C}_{30})$ 炭化水素であり、前記炭化水素は、1つ若しくは2つ以上の炭素原子上に、ヒドロキシル、フッ素、アルキル、アルケニル若しくはアリールにより所望により置換されていてもよく、そして/又は1若しくは2以上の位置において、 O 、 N 若しくは S ヘテロ原子により割り込まれてもよく、そして

m は、1～5の整数である)；

(b)(I)(2) 構造(I)に従う有機リン化合物の塩；

(b)(I)(3) 構造(I)に従う1種又は2種以上の有機リン化合物の2又は3以上の分子の縮合反応生成物；並びに

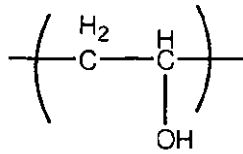
(b)(I)(4) (b)(I)(1)、(b)(I)(2) 及び (b)(I)(3) の、2種又は3種以上の、化合物、塩及び/又は反応生成物を含む混合物。

【請求項 2】

前記抗汚染薬剤が、下記；

(b)(II)(1) 次の構造(I-a)に従うモノマー単位を含むポリマー；

【化 2】



(I-a)

(b)(II)(2) ポリマー (b)(II)(1) の塩；

(b)(II)(3) 1 種又は 2 種以上のポリマー (b)(II)(1) の 2 又は 3 以上の分子の反応生成物；

から選択されるビニルアルコール材料をさらに含む、請求項 1 に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 3】

緩衝剤として、炭酸ナトリウムをさらに含む、請求項 1 又は 2 に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 4】

シリカ、アルミナ、ホスフェート、オルトホスフェート、ポリメタホスフェート、 γ -ピロリン酸カルシウム、炭酸カルシウム、及びそれらの混合物から成る群から選択される研磨艶出材料、並びに水をさらに含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 5】

0.01% ~ 10% の過氧化物供給源を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 6】

前記有機リン材料が、液状キャリア中に存在する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 7】

前記有機リン材料、界面活性剤、研磨剤及び所望による液体を含む歯清浄製品である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 8】

前記研磨剤が、ケイ酸、コロイダルシリカ、ヒュームドシリカ、不溶性メタリン酸ナトリウム、不溶性アルミノケイ酸ナトリウム、重炭酸ナトリウム、又はそれらの混合物の 1 種又は 2 種以上を含む研磨剤系である、請求項 7 に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 9】

前記歯清浄製品が、練り歯磨き又は歯清浄ゲルである、請求項 7 又は 8 に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 10】

前記歯清浄製品が、少なくとも 0.5 : 1 の、保湿剤：水の比を有する半透明ゲルである、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 11】

有効量の前記有機リン材料と、20 重量% ~ 95 重量% の艶出剤とを含む歯磨き粉である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 12】

歯から汚染物を除去するために有効な量の有機リン材料；アルコール；保湿剤；及び水を含む口内洗浄剤である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の オーラルケア組成物。

【請求項 13】

1 種又は 2 種以上の、着香剤、甘味剤、抗歯石剤、抗う蝕剤、緩衝剤、又は加工助剤を

さらに含む、請求項 1 2 に記載のオーラルケア組成物。

【請求項 1 4】

R^6 及び R^8 が、それぞれ、そして各 R^7 が、独立して、H、又は $-POR^9R^{10}$ であり、そして R^9 及び R^{10} が、それぞれ独立して、ヒドロキシルである、請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物。

【請求項 1 5】

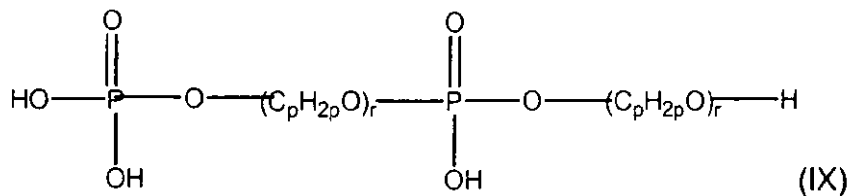
m が、2 ~ 5 の整数である、請求項 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物。

【請求項 1 6】

前記有機リン化合物が、下記；

(X) (1) 次の構造 (IX) に従う有機リン化合物；

【化 3】



(式中、

p は 2、3 又は 4 であり、

r は 4 ~ 50 の数である)；

(IX) (2) 構造 (IX) に従う有機リン化合物の塩；並びに

(IX) (3) (IX) (1) 及び (IX) (2) の、2 種又は 3 種以上の、化合物及び / 又は塩を含む混合物；

から選択される、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物を含む、チューインガム。

【請求項 1 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物を含む、オーラルケアストリップ。

【請求項 1 9】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物を含む、舐剤。

【請求項 2 0】

有効量の、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一項に記載のオーラルケア組成物を、清浄を必要とする歯に適用することを含む、歯を清浄するための方法。